

「ふくい2030年の姿」における記載について

	ふくい2030年の姿（平成17年3月）	ふくい2030年の姿・II（平成21年3月）
都市と地方の連携	<p>【視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通基盤の整備による大都市との近接と交流の促進（都市と農村の共生・交流） 地方・地域の自立 	<p>【視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大都市の急激な高齢化 「子育ては地方で」の意識の高まりと若者の地方への分散
	<p>【特徴的なデータ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 最も人口移動が少ない県の1つ（2003年） 福井県の転入率（1.36%：4位） 転出率（1.55%：3位） 都市住民の二地域居住希望者の高まり（2004年） 現在行っている：2.5% 将来行いたい：51.5% 県民が望む「将来の税と公共サービスのあり方」（2004年：県政マーケティング調査） 税金が高くても公共サービスが充実した社会：51% 公共サービスが充実していなくても税金が安い社会：41% 	<p>【特徴的なデータ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大都市で進む高齢化 老年人口割合：東京・・・15.9%（2000年）→28.0%（2030年） 福井・・・20.5%（2000年）→33.0%（2030年） 人口集中が進むほど合計特殊出生率は低下 合計特殊出生率（2030年）：東京・・・0.98 福井・・・1.44
	<p>【2030年のふくい】</p> <p>○三大都市圏に最も近い地域</p> <ul style="list-style-type: none"> 北陸新幹線の開業により福井が日本海側で最も三大都市圏に近い県になる 三時間到達圏内の主要都市の人口が1200万人から2700万人に増大 首都圏から1泊2日、関西・中京圏からは日帰り圏内になり、また、中心市街地や観光地づくりを進めることで県外からの観光客が2～3倍に増加 高規格幹線道路、JR北陸線の直流化により、関西・中京圏から週末を福井で過ごす人を増やし、逆ストロー現象を起こす <p>○二地域居住</p> <ul style="list-style-type: none"> エコ・グリーンツーリズムの拠点として気軽な日帰り、民泊など、質の高い田舎の日常生活に触れ合うことのできる農村を実現 県外の都市部で生活している人の「第二のふるさと」として、農山村部の伝統的住宅をセカンドハウスとして持つ「週末田舎暮らし」を満喫 農地、森林、里山を「週末田舎暮らし」に来る人々に貸し出し、普段の管理を請け負うビジネスを展開 <p>○地縁の復活と地域の自立</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分のことは自分でやるといった、当然の節度と責任を持つ自立した社会を実現 地域住民地震が様々な情報をもとにサービスと負担を選択できる「地域自治」を確立 <p>○地方の自立</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央政府の画一的な方針による「ナショナル・ミニマム（必要最低限の生活水準）」から脱却し、「ローカル・オプティマム（最適地標準）」を実現 	<p>【2030年のふくい】</p> <p>○若者の移住</p> <ul style="list-style-type: none"> 大都市圏の青年世代が地方に分散し、地方で魅力ある企業が成長。 「子どもを産み育てるなら地方」という意識と行動が全国的に拡大し、合計特殊出生率が回復 青年世代が地方に移住し、農業や地場産業等に就業 <p>○高齢者の移住</p> <ul style="list-style-type: none"> 大都市圏の高齢者が二地域居住や地方転居により地方に分散 県内大学と連携したカレッジリンク型やアグリスクールと連携したアグリリンク型など、個性的な高齢者コミュニティを整備し高齢者が移住 <p>○都市と地方の交流</p> <ul style="list-style-type: none"> 福井県出身の都会で住む人とのつながり、福井と都会のウィークタイズによる交流と共働が活発化 農作物と通じた農山村部（農作物のおすそ分け）と都市部（金銭や農作業の提供）交流が活性化（「緑の親戚」）し、県内に「東京ミッドタウン畑」が広がる <p>○地域の幸福度（QOC：Quality of Community）</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の「一人一役」が定着し、地域の幸福度（QOC）を向上させるため地域の住民、企業や学校が一体となって活動